



～絵本紹介～

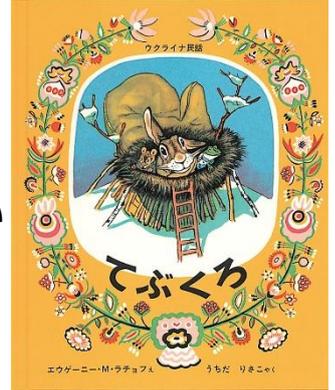


冬から春におすすめの絵本を紹介します！

にし組

題名：てぶくろ 作・絵：うちだりさこ、エウゲーニ・M・ラチョフ 出版社：福音館書店

おじいさんが森の中で片方の手袋を落とし、その手袋の中に次々と動物が入っていき、そこで暮らすという物語です。子どもたちの大好きな身近な動物がたくさん出てきて皆が小さな手袋の中で暮らすという夢のある物語であることと、動物の大きさも様々で手袋がちぎれそうになるというハプニングも起き、とても楽しい物語です。子どもたちも何度も繰り返し読み楽しんでいる姿がみられます。動物にもくいしんぼねずみなどそれぞれ愛らしい名前が付いており、親しみを持って読むことが出来ます。ぜひ就寝時などに温まりながら子どもたちと一緒に読んでみてください！



ほし組

題名：しぜん いちご 作・絵：斎藤雅緒、福居清孝 出版社：フレーベル館

イチゴはどうやってできるの？ということがわかりやすく写真で示してあります。他にも、どこで育つのか、どのように成長していくのか、どのような栄養が含まれているのか等も書いてあるので、食材に自ら興味をもつようになってきた子どもたちにとって面白い内容だと思います。物語調ではなく図鑑に近い絵本ですが、今が旬のイチゴ！食事や買い物の時間がより楽しくなるのではないのでしょうか。この絵本はイチゴだけでなくさまざまな自然についてシリーズ化されているのでぜひ、図書館や本屋で探してみてください！

1月から給食に出てきているいちご！子どもたちが口にはおぼる姿、おかわりをした時の嬉しそうな表情、とてもかわいいです！！



そら組

題名：てがみはすてきなおくりもの 著者：スギヤマカナヨ 出版社：講談社

年長さんになって文字や数字に興味関心が深まってきているそら組さん!!子どもたち同士で手紙交換をしたり小学校ごっこで文字を自由画帳に書いたりすることを楽しんでいます。

『手紙だからこんなふうに伝えられる、楽しい発見、ありがとうの言葉、大好きな気持ち』を様々な形で表現できるということが紹介されています!!ぜひ、この絵本を読んで、お子さんや遠くにいるおじいちゃん、おばあちゃんとやりとりをしてみたいかがですか！

